

令和3年度第1回香取海浜地域保健医療連携・地域医療構想調整会議委員からの意見及び県回答について

【議事1】脳卒中連携ネットワークの進捗状況について

	意見	回答
1	脳卒中予後改善に向けて重要な取り組みであり、今後も継続して推進していただきたいと思えます。市町村としては、早期受診について住民への周知を継続して実施していくことが重要だと思えます。	本県としても、今年度実施したように、健康福祉センターだより等を用いた地域住民の皆様への周知活動を継続していきたいと考えております。
2	現在のネットワーク運用は妥当に機能していると思われ、今後も進めていただきたいと考えます。	今後とも当該ネットワークの運用を進めていきたいと考えております。
3	血栓回収療法を実施した症例は年々増えており、脳卒中の早期受診の啓蒙活動の効果は出ていると思えます。さらに活動を地道に続けていく事で、脳卒中予後データ改善していくといいと思えます。第45号健康らいふはいいですね。	今後も脳卒中等の予後データ収集に努めるとともに、地域住民の皆様への啓蒙活動は継続していきたいと考えております。
4	旭中央病院の入院患者数が昨年度と比較してやや減少とあるが、地域の患者数が減少したのか、他医療機関（国際医療福祉大学、成田日赤）が増加したために減少したのか、検証がなされていない。	令和2年度の旭中央病院の当該疾病に係る入院患者数の減少については、入院患者総数自体の減少に付随したものと推測しております。今後、例年と大幅に異なる傾向が見られた場合、貴見のとおり検証を要するものと考えられます。
5	パンフレットを有効活用して、啓蒙活動を行っていくことももっと必要だと思えます。旭中央病院への搬送患者数に比べて血栓	治療の適応については、事例ごとの医学的判断に依拠するところが大きいものと思われませんが、今後の実績の把握と併せて、当

	<p>溶解療法や血栓回収療法の実績が少ないように読み取れました。治療の適応にならなかった要因が明らかになることで改善策が見いだせ、治療適応の症例が増え、実績向上につながるのではないかと思います。各施設頑張っていらっしゃると思いますが、円滑な転院・退院調整が重要と思います。</p>	<p>該疾病に係る予後の改善に寄与し得る情報の取得に努めたいと考えております。</p>
6	<p>地域が連携して行う事業として一定の成果が得られており、取り組みを継続していくことが重要と考えます。</p> <p>なお、県において報告事項1にあるとおり、「循環器病対策推進計画」の策定が進められていることから、当地区における取り組みの位置づけの整理、調整等について配慮いただきたい。</p>	<p>当該計画と本ネットワークとの関連及び位置付けの整理については、今後の検討課題とさせていただきたく思います。</p>
7	<p>コロナ禍にて周知が十分に行えないことが課題。</p>	<p>関係者・地域住民の皆様に対する当該ネットワークの周知については、健康福祉センターだよりの配布やホームページ掲載以外の方法や手段の検討も含め、今後も継続して注力していきたく思います。</p>
8	<p>情報共有は大変重要であり積極的に進めるべきと考えます。特に意見はありません。</p>	
9	<p>概ねよろしいように思います。今回のネットワークには当院は、関わり薄そうですが、脳血管障害の問題行動を扱うことがあり、基幹病院の脳血管障害の最初のエピソードの画像検査を共有できると良いと思います。</p>	<p>急性期・回復期・慢性期といった各段階への移行において、スムーズな転院を可能とするためにも、患者情報の共有は重要と考えられます。</p>

【議事2】千葉県保健医療計画の中間見直しについて

	意見	回答
1	多職種連携を強化し、提供体制のさらなる整備が重要と考えます。	県としましても、多職種連携が重要と考えており、在宅医療における連携体制の構築を支援するため、施策の方向性(案)に「医療・介護の多職種連携の促進」「在宅医療支援体制の確保」を掲げています。
2	内容を拝見し、在宅医療に関し、方向性として適正と思われる。	今後とも取組を進めてまいります。
3	在宅医療の充実に加えて介護保険施設の充実も大切かと思う。	市町村が地域のニーズや実状を踏まえて見込んだ介護サービスの必要量を確保するため、介護保険施設の基盤整備に努めます。
4	具体的な数字が書かれておらず、全体像が見えにくい。	施策の方向性を決定し、それを踏まえて評価指標を設定する予定です。
5	在宅療養にあたり、後方支援の医療体制(病床確保)の充実が大切だと思います。患者がどんなに最期まで自宅で過ごしたいと思いき、ご家族もそれを支援したいと思っても、家族への負担を心配する患者や急変時に慌ててしまうご家族はたくさんおられます。また気持ちの変化への対応も重要と考えます。在宅療養を始めるにあたり、また始まってからも、事あるごとに状況・状態の変化を患者側に説明し、今後の意向を確認し、意思を固めていく	現状について御教示いただきありがとうございます。今後の在宅療養のあり方の参考とさせていただきます。

	必要もあると思います。	
6	当地域は高齢者の比率が多く、かつ独居も多い。感染対策をしながらの独居高齢者の在宅には、多くの課題もあり、慎重な検討をお願いしたい。	現状について御教示いただきありがとうございます。今後の取組検討にあたり、参考とさせていただきます。
7	今後、在宅医療の必要性が増してくることから、施策の方向性に沿って、取組みを推進することに賛成します。	今後も取組を進めてまいります。
8	方向性に賛同する。市町村との連携強化を。	市町村職員等を対象に、医療と介護の連携に関する相談についての研修等を実施するとともに、市町村が進める在宅医療介護連携推進事業を支援します。
9	施策の方向性（案）の「b 日常の療養支援」に、「在宅療養支援体制の確保」を項目立てすることに賛成します。特に、集中豪雨等で災害が多発しており、災害を想定した備えについては必要性を強く感じます。図表における年の表示について、年号だけでなく西暦を併記していただいた方が解り易いと思います。	ご指摘のとおり、災害を想定した備えについては重要と認識しており、計画にも明記した上で関係機関と連携した取組を進めてまいります。 本文中の年号の記載については、計画全体の整合性を踏まえ、検討させていただきます。
10	75歳以上の人口の増加に伴い在宅医療の需要も増加が考えられることから、より一層充実した事業を展開していただきたいところだが、各種施策について現状に対する定量的な目標を掲げることも必要と考える。	施策の方向性を決定し、それを踏まえて評価指標を設定する予定です。

【議事3】 公立・公的医療機関の具体的対応方針の再検証に係る対応について

	意見	回答
1	<p>新型コロナウイルス感染症対応で地域から求められる役割は、各医療機関とも大きく、その点を加味した検討が必要と思います。</p>	<p>今回の再検証においては、国が分析の対象とした領域以外における急性期機能の役割についても再検討いただいております。香取海匝圏域の対象医療機関では、各報告書記載のとおり、地域における新型コロナウイルス感染症への対応を担っていただいたと報告しています。</p>
2	<p>各医療機関の対応方針は現状において妥当と思われま。</p>	
3	<p>地域の公的病院では、入院が必要な軽～中等症例、手術後や高度急性期治療後の病床の受け皿となってくれるといいと思う。</p>	<p>引き続き地域医療構想調整会議における協議等により、医療機能の分化及び連携を推進してまいります。</p>
4	<p>3医療機関とも、地域での存在意義についての説明があり、独自性があり、地域に貢献していると思う。今でも、旭中央病院に集中しており、3医療機関がなくなると大変なことになると思う。</p>	
5	<p>香取海匝地域の中核病院である旭中央病院からの受け入れ先となる医療機関は継続して必要です。高齢者がほとんどであり、転院後もリハビリや症状改善に時間を要し、改善や悪化を繰り返しています。ご家族の支援もとても重要であることから地域（居住地近く）の医療機関としての役割を継続・維持していく必要があると考えます。</p>	

6	<p>(1) 銚子市立病院：救急医療の機能拡大を図っていくことについては、当院としても期待しているところです。また、今後、休棟部分について、急性期病棟か回復期病棟のどちらかで運用を検討中とのことであり、現時点では今後の方向性が定まっていないため、適否の意見は保留とさせていただきます。</p> <p>(2) 多古中央病院：今後の状況変化等を踏まえ、回復期、介護へ機能を移していこうとするものであり、適当と考えます。</p> <p>(3) 匝瑳市民病院：急性期 84 床と現状維持の報告となっておりますが、「病院建替検討においてダウンサイジングも検討」と記載されており、現時点では今後の方向性が明らかとなっていないため、適否の意見については、保留とさせていただきます。</p>	
7	<p>コロナウイルス感染症患者の受入実績を客観的に評価すべき。</p>	<p>今回の再検証においては、国が分析の対象とした領域以外における急性期機能の役割についても再検討いただいております。香取海匝圏域の対象医療機関では、各報告書記載のとおり、地域における新型コロナウイルス感染症への対応を担っていただいたと報告しています。</p>
8	<p>近年医療は高度化し、検査機器や治療機器も高額になっている。地域における各病院をこえたデザインも必要かもしれない。各病院の意思のマネジメントや全体のデザインが適切であることを望みます。</p>	<p>引き続き地域医療構想調整会議における協議等により、医療機能の分化及び連携を推進してまいります。</p> <p>また、外来医療計画の策定に伴い、今後は医療機器の共同利用計画を調整会議で示す等、医療機器の共同利用に向けた取組を推</p>

	進してまいります。
--	-----------

【議事 4】 2025 年に向けた医療機関毎の具体的な対応方針について

	意見	回答
1	内容変更の3施設を含め、状況確認いたしました。	
2	今回のコロナ禍で当地域の高度急性期医療を24時間体制で担う旭中央病院には、だいぶ助けられた思いがあります。これを支える意味で、当地医の回復期、病床の充実と連携（病床間連携）は大切かと思えます。	引き続き地域医療構想調整会議における協議等により、医療機能の分化及び連携を推進してまいります。
3	人口（高齢者人口も含む）は減少傾向であっても、高齢化は進み、さらに高齢者世帯、認知症患者同士の介護世帯、引きこもり、ネグレクトも増加が予想されます。受診に至る疾病そのものは改善されても、ADLの低下はほぼ必須であり、一定の入院期間が過ぎても次の受け入れ先が見つからない、ご自宅での生活が困難、施設入所、サービス導入の費用が賄えない方々が、より一層増加すると考えられます。行政も頼るところは医療機関にならざるを得ないと考えます。医療機関が担うべき役割ではないことは承知しておりますが、様々な困難が予想されます。	引き続き地域医療構想調整会議における協議等により、医療機能の分化及び連携を推進してまいります。
4	香取海匠地域では急性期、慢性期の医療需要が減少し、回復期	

<p>の医療需要が増加するとのこと。当院も精神科領域で今後10年の間に療養病棟からの脱却をはかります。</p>	
---	--

【議事5】 病床機能再編支援事業について

	意見	回答
1	<p>当地区でトータル病床数が過剰とは思えない。病床の削減ではなく、機能再編（急性期ベッド⇒回復期ベッド、慢性期ベッド⇒回復期ベッドなど）で対応するのが望ましい。（病床削減ではなく、回復期ベッドへの転換が望ましい）</p> <p>A病院の急性期（慢性期）ベッドを減らした分、B病院の回復期ベッドを増やすということは可能なのでしょうか。</p>	<p>必要病床数に対する香取海匝圏域の病床数は過剰となっておりますが、病床機能再編支援事業の活用等により、医療機能の分化及び連携を推進してまいります。</p> <p>また、ご質問いただいた回復期への転換については、病床の削減を伴わない場合、本事業の対象外となっております。回復期への転換を促進する事業（千葉県回復期リハビリテーション病棟等整備事業等）は別途あることから状況に応じて補助金の使い分けを検討していただいております。</p>
2	<p>2病院とも慢性病床を減少させており、時代の需要に即している。</p>	
3	<p>多古中央病院については、急性期から回復期等への機能の転換を図り、山野病院については、慢性期病床の削減を図るもので、ともに今後の状況変化等を踏まえたもので適当と考えます。</p>	
4	<p>山野病院の慢性期病床削減につき了解しました。地域の実情に</p>	

	合った変更と考えます。	
5	(事業内容が、地域における病床機能の分化及び連携の推進に) 資するものと考えます。	

【その他】

	意見	回答
1	<p>東総地域救急医療ネットワーク会議で話されている「救急車の夜間・休日の受け入れ対応について」議題にされてはいかがでしょうか。</p> <p>【夜間・休日の救急車に旭中央病院で受けるが、翌日、翌々日には近隣の急性期・回復期ベッドを有する病院へ転院してもらおう。これにより救急車の搬送調整時間の圧倒的な短縮が得られる⇒脳卒中ネットワークにも関連するのでは】</p>	<p>千葉県東部地域救急医療ネットワーク会議で決定した内容を本会議において報告することについては、当該会議の了承を得る限りにおいて支障ないものと考えられますので、検討事項とさせていただきます。</p>
2	<p>コロナ感染予防のため書面開催となったと思われませんが、WEBでの会議はできなかったのでしょうか？</p>	<p>今回は新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発令を受け、書面で開催しました。次回はWeb等を活用して開催できるよう努めます。</p>
3	<p>国や県の様々な施策と「最後まで自分らしく」を尊重した療養場所や意思決定の支援にずれを感じます。住み慣れた地域で最期まで生活者を見守り、支援するために必要な医療と福祉を提供し</p>	<p>高齢化の進展を含めた地域の特性を踏まえ、質の高い保健医療提供体制が構築されるよう、地域保健医療連携・地域医療構想調整会議で御意見をうかがいながら取り組んでまいります。</p>

	ていきたいと考えます。医療の受け手である患者やその家族である地域の高齢化に伴い、医療や福祉サービスを提供する側の高齢化も進んでいます。特に香取海匠地域の医療従事者の高齢化にも目を向けていく必要があると思います。	
4	<p>○「県循環器病対策推進計画」の策定については、当地域では議題1にあるように、すでに地域で連携した取組みが開始されていることもあり、地域との連携や情報提供をしっかりとお願いしたい。</p> <p>○次期保健医療計画への位置付けが検討されている「新興・再興感染症対応」については、今後、当院としても役割を果たすべく前向きに検討していきたいと考えています。</p>	<p>○循環器病対策推進計画の策定にあたって、地域医療構想調整会議等の各地域における関係者の皆様が参加される会議等を活用し、地域との連携や情報提供に努めたいと考えております。</p> <p>○新興感染症等の感染拡大時における医療については、令和6年度からの次期医療計画の記載事項とされ、現在、国において、その具体的な記載内容等について検討されているところで、県としては、こうした国の動向を注視しつつ、調整会議等で寄せられた地域の皆様の御意見を受け止め、今後行われる次期計画の策定の際の参考とさせていただきます。</p>
5	<p>当院では銚子消防署より銚子市における救急搬送状況のデータ提供をして頂き、当院の救急受入状況の改善を行っています。搬送先の状況を見ていると、月毎にバラツキがあり銚子市地区としては救急体制に対しての基本方針が定まっていなに見えます。(旭中央病院に全て集中させるのか、トリアージを行い分散させるのか、)各病院が地域包括ケアシステムの下、機能分化を図っ</p>	<p>地域の救急搬送体制については地域のメディカルコントロール協議会（銚子市は東部地域救急業務メディカルコントロール協議会）で検討していくのが効果的と思われます。県も委員として参画していますので、よりよい救急搬送体制が構築できるよう議論を深めていければと思います。</p> <p>また、新興感染症等の感染拡大時における医療については、令</p>

<p>ていくに当たって地域における救急体制の基本方針を定める必要があると思われます。また、コロナ患者に対する連携体制についても調整会議にて協議を行う必要があるのではないのでしょうか。コロナ禍のもと大変だとは思いますが、当院の意見とさせていただきます。</p>	<p>和6年度からの次期医療計画の記載事項とされ、現在、国において、その具体的な記載内容等について検討されているところです。県としては、こうした国の動向を注視しつつ、調整会議等で寄せられた地域の皆様の御意見を受け止め、今後行われる次期計画の策定の際の参考とさせていただきます。</p>
---	--